



たけだまさみつ 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

都市部の工場跡地も補助対象

流山市特集 6月県議会一般質問

昨年4月の県議選で初当選し、自民党内でも若手の政策通として活躍する武田正光(たけだ・まさみつ)県議は、六月定例会議の一般質問に登壇し、県に対し、歴史的価値も高く自然環境にも恵まれた利根運河の観光資源としての活用を強く求めました。また、武田県議は、企業誘致の促進にも言及し、答弁に立った堂本暁子知事は、今後の企業誘致策について「当面の対策として、工場跡地などの民間用地に立地する場合も補助対象とすることを検討している」と明らかにしました。武田県議の一般質問と答弁の概要を1、2面で特集します。



6月県議会の本会議場で質問する武田正光県議

武田県議 利根運河は江戸時代からの古い歴史を持ち、今日では多種多様な生物の生息地であり、「ちば眺望(〇〇景)」にも選ばれている。県は、利根運河を観光資源としてどのように考えているのか。商工労働部長 利根運河は、明治二十三年に銚子の醤油や東北の物資などを東京へ運ぶために作られた。現在では、水運の役割は減っているものの、歴史的な観光資源の一つとなっています。

県は、平成十六年度及び十七年度に、運河の魅力を紹介した観光マップの作成や曼珠沙華の植栽などの支援を行ったところ。緩やかに蛇行する運河は、自転車道や遊歩道、公園なども整備された憩いの場となっています。昨年実施したちばデザインেশョンキャンペーンでも、利根運河自然体験ウォークが実施されたところ。今後、運河の歴史的な価値と周辺の自然を、野田市の醸造業とか流山市にゆかりのある新撰組などの歴史文化資源と関連付けながら、周遊コースづくりに取り組んでいきたいと考えています。

武田県議 水質浄化へ利根運河周辺の現在の下水道整備状況はどうか。県土整備部長 利根運河周辺の市街地からの汚水は、野田市及び流山市が行う公共下水道から、県が行う江戸川左岸流域下水道野田幹線に流入する計画となっています。この野田幹線は、総延長約5.6キロのうち流山市域の約4キロについて、今年度末に完成予定です。また、流山市の公共下水道は、すでに約53%が整備済みとなっています。

県としては引き続き、本幹線の未整備区間である野田市域の約1.6キロについて、同市が行う公共下水道事業と調整を図りながら、できるだけ早期の事業化を図ってまいりたいと考えています。

利根運河を観光資源に活用

立地企業補助金見直し

武田県議 他県に流出する企業と他県から流入する企業の状況はどうか。堂本知事 過去五年間で他県へ移転流出した工場の総数は十一件で、県外から千葉県へ移転流入してきた件数は十七件です。数では、千葉県へ入ってくる企業の方が多のですが、広いところを求めている工場立地となると、茨城県の方が広いところを用意しているということが数字で示されています。

武田県議 今後の企業誘致をどう展開していくのか。堂本知事 有識者による企業誘致策検討委員会の提言を踏まえて、来年四月実施を目標に立地企業補助金の見直しを進めています。具体的には、立地ニーズの高い都市部で用地が不足している現状から、工場跡地などの民間用地に立地する場合も補助対象にすることなどを検討しています。

武田正光県議PROFILE

略歴

- 昭和44年 8月9日生まれ
- 平成4年 中央大学商学部卒業
- 平成19年 中央大学会計士公認
- 平成19年 県議会議員初当選

略歴

- 県議会 総務常任委員会委員
- 自民党県連 広報本部委員
- 自民党県連 青年局青年部常任幹事

お気軽にご相談ください。 **たけだ 正光 事務所** 〒270-0163 流山市南流山1-1-2-701 TEL 04-7159-0518

若者の就職支援、東葛地域へ拡充

武田県議「ジョブカフェちば」は、十五歳から三十四歳までのフリーターなどの若者を対象とした就職支援を無料で行う県の施設だが、若者の多くが、若者の多く居住する東葛地域での就職支援について、一層の充実を図るべきと思うが、どうか。

「ジョブカフェちば」広報対応で

「ジョブカフェちば」は、就業意欲が高く正社員を目指す若者を支援する施設であり、県内各地の若者が利用しやすいよう交通の利便性の高いJR船橋駅前に設置されています。特に東葛地域は、東武野田線

やJR武蔵野線の利用などにより、時間的な負担も少ないことから、昨年度はこの施設の利用率の約15%、

四千三百人が東葛地域の若者でした。

今後、東葛地域を含めより多くの若者がこの施設

を利用し、就職につなげてもらうため、広報やサービスメニューの充実にも努めてまいります。



県議会自席から再質問する武田正光県議



武田県議 流山市内のつくばエクスプレス沿線区画整理事業の四地区のうち、県施行の「木地区」の土地区画整理事業における大規模街区の処分見直しはどうか。

木地区のまちづくりに先導

武田県議 流山市のグリーンチェーン戦略や景観計画に即した居住環境が形成されるよう、流山市とも十分協議しながら進めてまいります。

木地区土地区画整理事業

20年度内の処分見直し

武田県議 (仮称)新流山橋は、今後どのように進めていくのか。

新流山橋、地元と連携協力

都市計画道路

武田県議 運動公園周辺地区と新市街地区との連携を強化する上で重要な路線と認識しており、平成二十四年度までに整備を完了する第一期整備地区の中心となる道路として位置づけ、鋭意事業を推進しているところですが、

この路線は、支障となる家屋移転に時間を要するほか、その後上下水道の整備が必要のため、平成二十三年度の完成を予定しています。

武田県議 (仮称)新流山橋を含む都市計画道路約九百メートル区間は、平成十七年十一月の都市計画決定に際し付された意見を踏まえ、平成十九年三月から計画道路周辺の方々を対象に、環境調査結果を説明するところですが、



県議会自民党控室で県当局と政策協議する武田正光県議

また、県境に架かる橋であることから、共同事業者となる埼玉県と事業の手法、費用負担等で十分な協議・調整を図ってまいりたいと考えています。

武田県議 運動公園周辺地区内の都市計画道路3・3・28号中駒木線の整備見直しはどうか。

まちづくり部長 この路線は、運動公園周辺地区と新市街地区との連携を強化する上で重要な路線と認識しており、平成二十四年度までに整備を完了する第一期整備地区の中心となる道路として位置づけ、鋭意事業を推進しているところですが、

財源不足への懸念を表明

6月定例県議会で最大会派の自民党からは皆川輝夫議員(鎌ヶ谷市選出、四期目)が代表質問に登壇しました。皆川議員は、財政問題を第一に取り上げ、本年度は当初予算段階でも百四十五億円もの財源不足のうえ、原油価格の高騰や幅広い物価の値上がりで日本経済に暗い影を落としているなかで、今後予定した税収さえ確保できないのではないかと懸念から厳しい財政運営を質しました。また、羽田空港の国際化問題での知事の姿勢を厳しく質すとともに、成田新高速鉄道の開通に伴う北総鉄道との運賃格差問題や特急待ちによる利便性の低下などを指摘し、県当局の取り組みを求めました。

ふるさと流山のために

たけだ正光県議